

# ひばり

東国分爽風学園 市川市立稲越小学校

〒272-0831 市川市稲越 3-21-8 Tel. 373-8401

<https://ichikawa-school.ed.jp/inagoshi-sho/>

## 「みんな なかよく」の意味

校長 吉田 直美

「争いのない世界」は理想です。子どもたちにも「みんなでなかよくしよう」と教える大人は多いです。学校においても「お友達となかよくしましょうね」と話しています。「人となかよくする必要は全くない」と教える大人はいないかもしれません。今回は、この「みんな なかよく」ということをあらためて考えてみました。

「みんな なかよく」という言葉には二つの意味があると考えます。

一つは「仲の良い友達を多く持つ」という意味の「みんな なかよく」です。「たくさんさんの友達を作ろう」を目標にすると「友達 100人できるかな」の歌詞もありますね。もう一つは、相手に嫌なことをしないという意味の「みんな なかよく」です。今回はここにスポットを当てたいと思います。人間はそれぞれ考え方や価値観が違います。ですから、気の合う人もいれば苦手な人もいるのは当然のことです。ですが、気が合わないから、苦手だからと言って、悪口を言ったり意地悪をしたり、相手に「私はあなたのことが嫌いです」というあからさまな態度をとることはいけないことです。大切なのは、「苦手な人がいてもいい。それは自然なことだ。ただし、その相手が嫌な気持ちになるふるまいをするべきではない」と伝え、教えることだと思います。

子どもは小さな子であっても「自分は立派でいなければならない」という思いを持っているものです。自分に苦手な友達がいると、そんな自分を「いけない子」と思い悩む子もいるのです。担任時代の苦い経験から、私は子どもたちの接し方が随分変わりました。子どもたちに「こうでなくてはならない」ということが伝わってしまうような言葉はできるだけ使わないように心がけました。

たとえば「みんななかよく」という言葉も「みんななかよくしなければならぬ」ではなく、「人となかよくすることは難しいことだけど、なかよくできたら素敵だね」という言葉なら、子どもたちが受け取るメッセージはまったく違うはずです。

「先生にも嫌いな人がいるよ。でもね、だからといってその人に意地悪はしないよ。きちんと挨拶もするし、本人に嫌いだと言ったりはしないよ。」心と行動を切り分けることは大事なことだと、きちんと伝えておきたかったのです。

人は、差別をしたくなる心を消せないかもしれません。ただ、たとえそんな心は消せなくても、どんな言動が差別になるのかを知ることができれば、差別しない行動を取り、嫌いな人ともうまく人間関係を築くことができるようになると思います。それは、互いに心地よく過ごせる社会の根底ともいえる気がします。